

とさるふ 資料紹介

＝⑧⑧＝

収集資料紹介ノート ―モノに歴史あり―

(七) 給桑台きゅうそうだい

蚕さしよせに桑を与える給桑、あるいは除沙などのときに、蚕座をのせて作業する折たたみ式の台のことを「給桑台」といいます。

「給桑台」には固定式と回転式があり、前者は四角の蚕座（角座）用、後者は丸い蚕座（円座）用でした。一般に前者を多く見かけるようです。

固定式の給桑台は、角材を八本用いて製作します。中央部をとめ金でとめ、開閉が可能となっています。

※除沙……蚕の食い残した葉や、ふんなどの混じったものを取り除くこと



◀角座をのせた給桑台（固定式）

今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございます。

（平成十年九月分）

- つくだ煮看板など二点
（後藤啓助さん／富加町）
 - アイロンなど十四点
（堀義美さん／下米田町）
 - ハッチンボウなど六点
（平田邦治さん／伊深町）
 - 町駕籠など三十点
（林復明さん／太田町）
 - 大正式廻転桑刈器など十五点
（森川進さん／清水町）
 - 玉石取り関係品など十点
（白木太郎さん／川合町）
- 博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／圃内四〇八）まで情報をお寄せください。